

有田小学校における 全国学力学習状況調査 の結果について

平成29年10月2日

玉城町立有田小学校

全国学力・学習状況調査の結果より

去る4月18日に実施しました全国学力・学習状況調査について有田小学校の状況をお知らせします。この結果を踏まえ、学校としても授業や学習に対しての取り組みなど、現在改善にむけて取り組んでいます。ご一読いただき、今後のご家庭でのご指導の参考にさせていただきますようお願いします。

※（ ）内の数字は、児童質問紙においては（本校/県/全国）の「している」「あてはまる」の回答の割合、学力調査問題においては（本校/県/全国）の正答率を示しています。

【1 児童質問紙について】

児童質問紙では、「朝食を毎日たべている」という質問において「している」と答えた児童の割合が86.1%と高い割合を示しました。また、「毎日同じくらいの時刻に寝ている」「毎日同じくらいの時刻に起きている」という質問でも「している」と答えた児童の割合は県や全国の平均を超えており、正しいリズムで生活を送る事ができているご家庭が多いことが見て取れます。

他にも「将来の夢を持っていますか」「人の役に立つ人間になりたいと思いますか」という質問に対しての「持っている」(80.6%/68.4%/70.0%)「そう思う」(72.2%/68.1%/68.0%)という回答率が県・全国の平均を大きく上回っています。「物を最後までやり遂げてうれしかったことがある」(77.8%/73.1%/73.4%)「家の人と将来のことについて話しますか」(58.3%/50.3%/48.4%)「地域での行事やボランティア活動に参加したことがありますか」(61.1%/30.3%/35.4%)といった項目でも肯定的な回答率が県・全国の平均を上回っています。子どもたちが家庭・地域の中で育てられ、将来の夢を持つ力をつけられていることがわかります。

県や全国の平均を下回って気になったことが4つあります。1つめは「家で学校の授業の予習をしていますか」(8.3%/17.2%/16.3%)、2つめは「家で学校の授業の復習をしていますか」(11.1%/21.6%/23.6%)という項目です。3つめの「平日の勉強時間」が「1時間以上」(44.4%/61.6%/64.4%)という児童の割合も県・全国平均を下回っています。4つめの「家で宿題をしますか」(86.1%/89.6%/88.0%)というところは県・全国の平均と大きな差が見られないところから、宿題を早く済ませて、予習や復習などに時間を使おうとするなど、自主的な学習の仕方がつかめていない姿が浮かんできます。学校としても放課後や昼休みに学習ボランティアに来ていただき、教員と共に授業内容や宿題などで分からなかったところや学習の進め方などについて指導を実施していきます。そこで家庭での自主的な学習の方法についても身に付けていけるようにしていきたいと考えます。

また、「読書は好きですか」という項目において、「好きではない」(22.2%/10.6%/10.3%)と答えた児童が多かったことも気になりました。「1日にどれくらい読書をしますか」と言う項目で「全くしない」(33.3%/21.7%/20.5%)と答えた児童の割合も県・全国を上回っています。また、「1日3時間以上テレビを観る」(36.1%/33.7%/32.7%)「1日1時間以上メールやインターネットをする」

(33.4%/22.9%/20.5%)という割合が高く、「本を読まない」「文章を読まない」という子どもたちの姿が見えてきます。それも今回の学力調査の結果にも現れているように思います。

今後は週 1 回「はなはなお話会」の方に来校していただき、読み聞かせを進めていきます。そこで本の楽しさに気づき、読書に積極的になる児童を増やしていき、子どもたちの「読む力」を付けていきたいと考えています。

【2 学力調査について】

本校の児童は、頑張って調査に取り組んでおりました。問題に対して「わからない」とあきらめてしまい、何も回答しない「無回答」が大変少なくなっています。特に、算数Aでは無回答だった問題が 0 で、全員問題に対して粘り強く取り組んだと言えます。ただ、全体の結果としては厳しい状況が続いています。全国の平均と比べると約一問ずつ正解数が少ない状況です。正答率にすると県や全国の平均から約 5～12 ポイント、低くなっています。

正答率が高かったのは国語では漢字の読み・書きのところ、算数では計算のところでした。こういった項目はこれからの基礎になる部分でもあり、基礎的な力はある程度ついていると考えられます。

正答率としては低かったのですが、県・全国の平均を上回る正答率を示したものもあります。国語Bの問題で中学生のアドバイスをもとに水やりを協力してくれる人を募集する文章を書く問題で正答率が県・全国を上回りました。(33.3%/32.8%/33.1%)「水やり」と言う日常の経験を一人ひとりが積んでいるからだとも考えられます。

また、算数Bの問題の中で 2 次元表をもとに考える（提示された表の内容について、どのグラフで表すのが適当かという）問題でも全国を上回る正答率を上げています。(31.3%/27.0%/29.3%) 表の中で当てはまる項目を考え、回答する問題で、こういった数理的な問題では本校の子どもが強みを発揮できるようです。

反対に正答率が低く、かつ県・全国の平均を下回ったものとしては次のようなものがあります。

国語Bで問題文から取りあげた言葉や文をもとに松ぞうじいさんととび吉がきつねと考えたわけを「まとめて書く」問題 (27.8%/43.2%/43.8%) や、算数Bにおける仮平均の考えを用いて測定値の平均値を求める問題 (11.1%/22.5%/25.2%) です。これらはいずれも条件をもとにして回答していくものですが、とりわけ「自分がどう考えたのか」を「書く」問題になっています。特に国語の問題では文章全体を「読んで」「中身を理解する」ことが、回答できるかどうかにかかわってくる問題です。

算数の問題でも、計算のような問題では正答率が高いのですが、問題が長くなると正答率が下がる傾向が見られます。問題を素早く「読んで」「内容をつか

む」ことが苦手な姿が浮かび上がってきます。何とか答にたどりつこうと頑張るのですが、読む力に課題があるためにたどりつけない、また、考えは分かっているがうまく「書く」ことができない姿が浮かんできました。

【3 学校質問紙の結果をふまえた今後の学校としての取り組みについて】

本校は、町の方針により、全国の中でも授業において利用できるＩＴ機器が充実しております。教員もそれを使いこなしながら「わかる授業」づくりを進めてきました。また、「読むこと」「書くこと」といった言語活動に重点を置いた授業改善を進めてきました。しかしながら、学力調査の結果は十分な成果とはなっておらず、今年度は外部講師（学力アドバイザー）の積極的な活用を図り、これからの授業改善についてさらに研究を進めていきます。また、地域の方々などを外部講師として招いた授業を行ったり、運動会や文化祭、資源回収などの行事ではPTAや地域の方々などの協力をいただいたりと、地域の方々が大変協力的に学校に関わっていただいております。今までの地域の方々の協力による米作りやさつまいも作りなどに加えて、木育や俳句作りなど、今年度はさらに幅広い方々に講師として来ていただいて授業を進めており、学習サポーターの導入も図っていきます。このような人との関わりを充実させながら心の教育をさらに推進していきます。

児童質問紙の結果も踏まえ、学校としては今後、「読む力」をつけるとともに「学習の仕方」「書く力」「問題を素早く処理する力」をつけていけるよう指導を進めていきます。読書については「読む楽しさ」を味あわせる取り組みを進め、自発的な読書の時間を増やしていけるように取り組んでいきます。おうちでも子どもと一緒に読書をする時間を作っていただいたり、おうちの方が読み聞かせをしてあげたり、子どもの読み聞かせを聞いてあげたりするなど、本に親しむ機会をつくっていただければ幸いです。

くわえて、さらなる基礎基本の徹底のため、段階的なプリント学習による朝学習の充実を図っていきます。また、話し合うことを大切にして、考えを広げ深めるために、他教科においても考えや思いを「書く」ということを意識的に取り入れていきます。さらに、子どもたちの発達段階や実態を踏まえつつ、「知識及び技能」の習得と「思考力、判断力、表現力」の育成、「学びに向かう力、人間性等」の涵養という３つの柱がバランス良く育成されるよう、主体的、対話的で深い学びの実現に向けて授業改善を図っていきます。今後ともご理解ご協力よろしくお願いします。

以下は正答率が高かったり県・全国の平均正答率を上回り、本校児童の「強み」とみることができる問題と、正答率が低かったり県・全国の平均正答率を下回り、「弱み」とみることができる問題です。

※（ ）内は(本校の正答率/県の平均正答率/全国の平均正答率)を表しています。

【4 正答率の高かった問題、県・全国の平均正答率を上回った問題】

国語A

漢字の読み書き

【読み】 「指示」 (94.4%/95.1%/94.5%)
「期限」 (97.2%/95.9%/94.5%) の読みを答える。

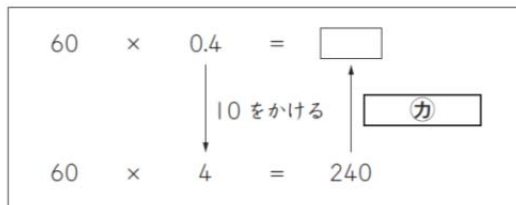
【書き】 「きぼう者」(4年生のきぼう者)を漢字で書く。(80.6%/78.0%/80.0%)

算数A

小数の計算の仕方を答える (94.4%/91.8%/91.0%)

(3) 0.4 m分の代金を求めるための式を、 60×0.4 としました。

60×0.4 の答えを求めるために、次のように、 60×4 の答えを使います。



㊦ではどのようなことをしますか。

下の 1 から 3 までの中から 1 つ選んで、その番号を書きましょう。

- 1 10 をかける
- 2 10 でわる
- 3 そのまま答えにする

計算 $10.3 + 4$ (83.3%/80.2%/79.7%)
 $6 + 0.5 \times 2$ (83.3%/63.2%/66.6%) を計算する。

問題文をもとに、元のシールの枚数を求める式を選ぶ (83.3%/81.5%/83.6%)

はじめにシールを何枚か持っていて、5 人で等しく分けたら、1 人 10 枚ずつになりました。

このことを、はじめに持っていたシールの枚数を□枚として式に表します。

下の 1 から 4 までの中から、正しい式を 1 つ選んで、その番号を書きましょう。

- 1 $\square \times 5 = 10$
- 2 $10 \times \square = 5$
- 3 $\square \div 5 = 10$
- 4 $10 \div \square = 5$

算数 B

問題文をもとに適当なグラフを選ぶ (33.3%/27.0%/29.3%)

ゆうじさんたちは、調べた結果をグラフに表して発表しようと考えています。



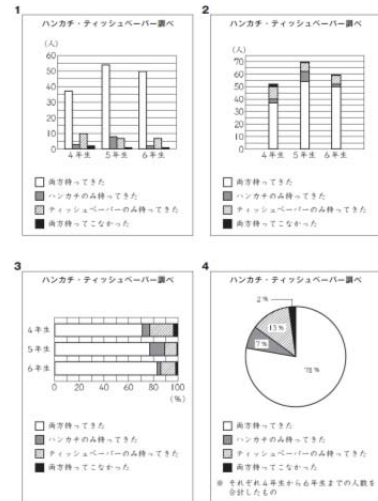
ハンカチとティッシュペーパーの両方を、いちばんよく持ってきている学年がわかるようなグラフを作りたいです。



学年の人数がちがうので、「学年の人数」をもとにしたときの「ハンカチとティッシュペーパーの両方を持ってきた人数」の割合がわかりやすいグラフを作ればよいと思います。

2) それぞれの学年の、「学年の人数」をもとにしたときの「ハンカチとティッシュペーパーの両方を持ってきた人数」の割合を表すのに、最も適したグラフは、右の 1 から 4 までの中のどれですか。

1 つ選んで、その番号を書きましょう。



【5 正答率の低かった問題】

国語 A

手紙の後付けの書き方 (33.3%/42.2%/41.5%)

4	ア	日付	イ	自分の名前	ウ	相手の名前
3	ア	相手の名前	イ	日付	ウ	自分の名前
2	ア	日付	イ	相手の名前	ウ	自分の名前
1	ア	自分の名前	イ	日付	ウ	相手の名前

二 松本さんは、手紙の後付け（手紙の最後に付ける内容）を書こうとしています。「山村さんへの手紙」の **ア**・**イ**・**ウ** の中に入る内容の組み合わせとして最も適切なものを、次の1から4までの中から一つ選んで、その番号を書きましょう。

2

松本さんは、昔の人々のくらしに興味をもち、学校の近くにある歴史資料館へ行きました。その後、お世話になった資料館の山村さんに、お礼の手紙を書いています。次の「山村さんへの手紙」をよく読んで、あとの問いに答えましょう。

【山村さんへの手紙】

緑が美しい季節となりました。先日はおいそがしいところ、歴史資料館を案内していただき、ありがとうございました。実際に資料館を見学することで、昔の人々のくらしについて考えることができました。

特に心に残っているのは、「昔のくらし体験コーナー」です。せんたく板を使ってあらうと、せんたく機だけでは落ちないようなよこれがきれいに落ちたのでびっくりしました。また、よこれを落とすには時間がかかり、うでがいたくなることを実感しました。今は自動でせんたくができて、その間に他の仕事をすることもできます。でも、昔はせんたく板を使い、長い時間をかけてせんたくをしていたことが、今回の見学を通して分かりました。

昔のくらしのよいところや大変なところを知ることができ、もっと調べてみたくなりました。これからも、いろいろなことをわたしに教えてください。

ア

ウ

イ

漢字

参加たいしょう

を漢字で書く。(30.6%/37.0%/42.0%)

算数 A

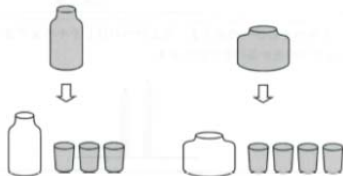
長さ、重さについて何か基準になるものを決めて比べているものを選ぶ (50.0%/68.9%/70.7%)

4

次の2つのびんにいっぱい入れた水のかさを比べます。



2つのびんにいっぱい入れた水のかさは、同じ大きさのコップに分けて、それぞれコップ何ばい分かで比べることができます。



この比べ方と同じように、ものの重さや長さを同じ大きさのいくつかで比べているものは、右の 1 から 4 までの中のどれですか。
2つ選んで、その番号を書きましょう。

1

のりと消しゴムの重さを、てんびんを使って、同じ重さの積み木の個数で比べます。



2

分度器と三角定規の重さを、てんびんを使って、どちらにかたむいているかで比べます。



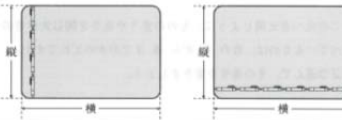
3

2本のえんぴつの長さを、えんぴつのはしをそろえて立て、どちらのえんぴつの先が高いかで比べます。



4

ある机の縦と横の長さを、同じ長さのボールペンの本数で比べます。



算数 B

仮の平均の考えを活用して測定値の平均を求める (11.1%/23.3%/26.1%)

次に、車の先頭が㊦の位置に来るまで輪ゴムをのばした場合の、車が進んだきよりを5回調べ、表2のようにまどめました。表2をもとに、きよりの平均を考えます。

表2 ㊦の位置に来るまで輪ゴムをのばした場合の記録

回数	車が進んだきより
1	7 m 52 cm
2	7 m 31 cm
3	7 m 54 cm
4	7 m 20 cm
5	7 m 43 cm

かずやさんは、平均を求める計算を簡単にするために、7 m をこえた部分に着目し、次のように平均を求めました。

【かずやさんの平均の求め方】

7 m をこえた部分の平均を求めます。
 $(52 + 31 + 54 + 20 + 43) \div 5 = 40$
 7 m に、求めた平均の 40 cm をたします。
 車が進んだきよりの平均は、7 m 40 cm です。

【かずやさんの平均の求め方】を聞いたはるなさんは、次のように考えました。



7 m のかわりに、7 m 20 cm をこえた部分に着目しても、平均を求めることができます。

(2) 7 m 20 cm をこえた部分に着目した平均の求め方を、言葉や式を使って書きましょう。